

平成28年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	18. インクルーシブ教育システム推進事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	3. 教育研究指導費	担当所属	指導課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
臨時	単独	計画	0	0	0	実施計画	第3章	心豊かな人づくり、まちづくり	6,903
							基本施策7	心の教育の推進	平成28年度 2,301
									平成29年度 2,301
									平成30年度 2,301
							施策1	心を育てる学習を充実します	平成31年度 0
								平成32年度 0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		2,231

財源内訳	一般財源
本年度当初要求額	0
本年度当初査定額	2,231

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・ことばの発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援の充実を図ります。</p> <p>・地域資源の組み合わせ(スクールクラスター)を活用し、発達に課題のある幼児児童生徒への支援について関係機関が連携し、継続的に行うことのできる体制づくりを行います。</p>	<p>(事業の目的) ・ことばの発達に課題のある児童のニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく、適切な支援が受けられるようにします。</p> <p>・障害の有無にかかわらず、発達に課題のある幼児児童生徒について、地域の関係機関が連携して支援にあたることのできる体制を構築します。</p>	<p>(事業の効果) ・ことばの発達に課題のある児童への教育的効果を高めることができます。</p> <p>・発達に課題のある幼児児童生徒の育ちを支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・関係機関が連携し、障害のある子どもへの適切な合理的配慮を提供するためには、関係する教職員の十分な理解が必要です。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・前年度までの研究の成果をベースにし、さらに関係者間の連携による支援が充実するように、学校支援コーディネーターを積極的に活用します。</p>	<p>(見直しについての特記事項) ・学校支援コーディネーターの業務内容を明確にします。</p> <p>・専門性の高い人材を講師に活用するとともに、リーフレットによる普及をめざします。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	2,211	0	2,211
08	20	0	20

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源										
						差引一般財源	0	2,231	0	2,231